

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] [施策名]		[50] 生活環境衛生の確保			主管	健康部 生活衛生課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] Ⅲ 暮らしやすいまち [基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小柱] (3)安全で健康な生活環境の確保				
	10年後のめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● ダニ・シックハウスなどの室内環境に関する相談に応じ、健康で快適な居住環境の確保が図られています。 ● 動物の愛護が推進されるとともに、飼い主の適正飼養が啓発され、平常時・災害時を問わず、ペットとの共生が進んでいます。 				
	主な取り組み	① 住居の事前指導・相談体制の充実	⑥			
		② 適正飼養と動物愛護の推進	⑦			
		③ 災害時のペット対策	⑧			
		④	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		室内空気環境測定診断件数	年20件	年30件	年13件	年23件
		動物に関する苦情件数	125件	減少	167件	92件
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		<p>室内空気環境測定の診断結果を建築主等との事前協議に反映させることにより、健康で快適な居住環境の確保を図っており、この事前協議指摘事項の改善率は27年度・28年度ともに100%となっているが、施策の指標である室内空気環境測定診断件数は、行政計画事業の目標を達成できていない。また、シックハウス症候群対策からダニアレルゲン対策に重点課題が移ったことを踏まえた「住まい方」のアドバイスを実施しているものの、住まいの室内環境相談件数についても目標を下回っている。そのため、区民のニーズや相談傾向を把握し、ターゲットや周知方法等について検討していく必要がある。</p> <p>動物の愛護と適正管理については、犬の適正飼養講習会数、地域猫ボランティア登録者数ともに行政計画事業の目標を達成し、施策の指標である動物に関する苦情件数も減少しており、ペットとの共生が推進されている。</p>				
学識経験者からの意見		<p>快適な住まいづくりについては、区民からの相談傾向を活かした健康で快適な室内環境づくりを推進している点を評価したい。</p> <p>ペットの適正飼養と動物愛護の推進では、犬のしつけ教室や、猫の不妊去勢手術助成、地域猫ボランティア登録の取り組みで、効果が表れている。</p>				

施策を構成する行政計画事業の進捗									
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)	
1	(159)快適室内環境づくり	生活衛生課	空気環境測定	年30件	目標	30件	30件	30件	
			14件		実績	13件	23件	30件	
		生活衛生課	住まいの室内環境相談	年200回	目標	200回	200回	200回	
			111回		実績	146回	109回	200回	
		生活衛生課	事前協議指摘事項の改善率	100%	目標	100%	100%	100%	
			100%		実績	100%	100%	100%	
				目標					
				実績					
2	(160)動物愛護と適正管理	生活衛生課	犬の適正飼養講習会	年9回	目標	9回	9回	9回	
			9回		実績	9回	9回	9回	
		生活衛生課	地域猫ボランティア登録者数	360人	目標	330人	345人	360人	
			324人		実績	346人	375人	375人	
						目標			
						実績			
				目標					
				実績					
3					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
				目標					
				実績					
4					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
				目標					
				実績					